

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900412		
法人名	アークエム株式会社		
事業所名	ゆう希苑かなすぎ		
所在地	千葉県船橋市金杉町882-3		
自己評価作成日	令和5年1月25日	評価結果市町村受理日	令和5年4月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	令和5年3月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な環境の中で安心と尊厳のある生活が送れるように支援しております。
-------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の優れている点は①「家庭的な環境の中で安心と尊厳のある生活」等の理念を掲げ、職員一人ひとりが理念をよく理解し、利用者が持つ力を活かしながら安心して暮らせるよう全力で取り組んでいる。②利用者は職員との深い信頼関係の基、穏やかに笑顔が溢れる日常生活を楽しんでいる。③ご家族に電話やライン、メール等で利用者の状況をこまめに伝えながら情報を共有し、ご家族と共に介護に取り組めるよう努めている。④災害時には地元住民の支援を受けられる体制や温かく見守って頂ける環境など「地域コミュニティの中で・・・」の理念が実践されている。⑤今年度、看取り介護が7名おこなわれ、人生の最後まで寄り添う支援により、利用者・家族の信頼は厚い。⑥理念に基づく職員の姿勢は明るく、介護の仕事にやりがいと誇りを持っている。
---

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価
			実践状況	実践状況  次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ゆう希苑の理念を申し送りや会議で提唱し職員と共有に努めております。理念の中にある家庭的な環境の中で安心と尊厳のある生活が送れるように支援に努めております。	「家庭的な環境の中で安心と尊厳のある生活」等を理念に定め、職員は一人ひとりの利用者を理解し、利用者に寄り添い、安心した生活がおくれているか、理念に沿ったケアが提供されているかを職員同士で話し合い、理念の共有化に努めている。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症対策のため来苑者の規制、外出の規制をしているため日常的な交流が出来ないが定期的に自治会、民生委員と連絡を取り情報共有しております。	運営推進会議に自治会長が出席され、万が一の災害時には地域住民の方の協力を頂けるような関係性がある。また、広い苑の駐車場では近隣の子もたちが遊び、近所の方から一時駐車のお願があるなど、日常的な交流が行なわれている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	直接的な交流は感染症対策のため、自粛しております。 本来は地域行事に参加させて頂き、運営推進会議にご入居者様代表も参加して頂き認知症に対する理解や周知に努めております。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、平均4回開催しております。ご家族様、包括支援センター、町会長様、在宅支援センターの方々からさまざまな意見を頂戴し職員と会議で共有し今後の課題やより良い支援につなげていく努力をしております。今年は感染症対策のため議事録交換にて関係方法を交え意見交換いたしました。	運営推進会議はホームの感染症対策や利用者の生活状況、家族面会等の具体的な取り組みをを2カ月ごとに議事録としてまとめ、地域包括支援センター、在宅支援センター、町会長、2名の家族代表等に送付し、意見やアドバイスを得ている。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に毎回参加していただき意見交換をさせて頂いております。今年は特に感染症対策について保健所、指導監査課、介護福祉課より密にご指導、ご協力頂いております。日頃より包括、在宅のご支援を頂き取り組んでおります。	地域包括支援センター、在宅支援センターとは連絡を密に取り、情報を共有しながら連携して地域支援に取り組んでいる。入居後も常にサポートを頂くなどの協力関係が築かれている。また、生活支援課とは地域で生活に困窮した認知症高齢者の支援を連携して取り組んでいる。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	国道に面している為、ご家族様、ご入居者様に安全面の為ご理解頂き施錠しております。職員には会議の度拘束に当たる事を説明し拘束感を与えないよう配慮しております。身体拘束について定期的に研修や委員会を開き理解や防止に努めております。	年4回、身体拘束廃止委員会を開催し、職員は利用者を見守り、観察しながら常に良いケアを考え、身体拘束を行わないケアを職員全員で工夫して取り組んでいる。全職員で情報共有の基に、一人ひとりの利用者を支えるように取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で虐待について議題に上げ常に意識をするように注意喚起を行い、職員の勤務態度や入居者との関り、様子を注意観察している。ご家族様との関りの中で虐待がある、疑いがある場合行政と協力し対応している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がいるため、成年後見制度の仕組みについて理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に必ず施設内見学をして頂きグループホームの特色や役割を体感して頂いた上で契約を結び、不明点や不安も随時確認をさせて頂きご納得頂いて契約を行っております。改定時にも同様の取り組みを行っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご入居者様、ご家族様に運営推進会議や行事にご参加頂き貴重なご意見を職員と共有しケアに反映しております。ご家族様よりメールでご意見や励ましのお言葉を頂く機会も多く職員と共有し活力となっております。ケアに関するご意見は投書箱を玄関に設置しております。	利用者の意向は日々のケアの中で日常的に汲み取ることに努め、家族意見は来訪時やラインやメールで日常的に意見・要望を聞き取り運営に反映させている。利用者アンケート、「家族の困っていること、求めていることの話聞いてくれますか？」の設問に対し、殆どの方がよく聞いてくれるとの回答であった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の勤務状況、勤務態度を考慮し本社と情報共有し評価し職員のやりがいにつながる様に対応しております。また日々の職員とのコミュニケーションの中から問題点がある時は随時解決し職場環境が改善される努力に努めております。	管理者は日常的に職員と会話を交わし、ホーム会議等で、職員からの意見や要望を吸い上げ、運営に反映するようしている。意見や提案が言いやすく、職員間で常に話し合うチームワークの良い職場環境により職員は介護の仕事にやりがいを持っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今年は当苑でも10年表彰者が3名おり表彰されました。職員の勤務状況や勤務態度を評価し職員のやりがいにつながるよう対応しております。日々職員とコミュニケーションを図り随時解決策を共有し働きやすい環境作りに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	感染症予防のため外部研修に参加出来ないが、内部研修は資料配布し研修を行っている。わからない事や不安な事は随時解決できるよう指導しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月施設長会議を行い情報交換、共有に努めております。直接訪問は自肅し他施設とFAXやメールを通じて情報交換や感染症対策の情報交換をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境変化に伴う心境を職員一同共有し、ご本人様のペースに合わせ不安がある時は寄り添い要望に出来る限り対応を積み重ね信頼関係が築けるよう努めております。家族やケアマネージャー等に情報収集を行い信頼関係を構築に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時からご家族様の不安や要望をお伺いし出来る限りご要望にお応え出来るよう対応しご入居後もご入居者様の状況を随時報告しご家族様と共有し不安や要望を伺い信頼関係が築けるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様、ケアマネージャーとよく話し合い、「その時」に必要なサービスを見極めてサービス関係者と連携強化し最善を尽くしたサービスの提案をさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人の持っている力を最大限活かし役割のある生活が送れるよう支援に努めております。ご入居者様同士、作業や家事を連携して行うことで互いに必要な関係が築けるように支援しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後もご家族様の知っている情報がケアに役立つ事がたくさんあるため情報共有を常にさせて頂きケアプランに活かしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策のため来苑者の規制中のため、電話やテレビ電話をして頂いたり手紙や絵手紙を送り関係が途切れないように支援しております。	感染に留意しながら家族面会が解除となり、積極的にご家族や親戚の来訪を依頼している。昔馴染みの友人・知人も面会に来られ、会話を楽しんでいる。今後行きつけの美容室や利用者との外出にも取り組んで行きたいと計画している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同フロアにてお過ごしになる方が多くバズルや塗り絵をされたり物作りを一緒に行っています。食事前の体操や家事をして頂くため共同作業を通じ入居者様同士が支え合えるような環境作りに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後であってもご本人様、ご家族様との関係性を大切に相談や出来ることがあれば支援させて頂いております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、ご入居者様とコミュニケーションを図り意向の把握しております。傾聴する中で暮らしの意向を把握し職員、ご家族様と情報共有しております。会話困難な場合は表情、仕草から意向を把握出来るよう努めております。	利用者との日々の関わりの中で、気づいたことを職員間で話し合い、生活リズムやかかわり方を理解し、希望・意向の把握に努めている。思いを言葉に表すことが困難な利用者には職員は話しかけ、コミュニケーションをとりながら、要望を読み取り、利用者の満足につなげている。	アセスメントにおいて利用者の生活やバックグラウンドなど、詳細に聞き取り、利用者の思いを共有することが望まれる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様の情報を基に今までの生活歴を把握し馴染みのある暮らし方により近づけられるように支援に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のコミュニケーションの中から心身状態の把握し体調不良時の早期発見に努めております。有する力も日々変化する事を職員が共通認識しているため日々の変化に柔軟に対応しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書を作成するためにも毎月ご家族様に状況報告のお手紙を送り、状態変化のみられた場合随時ご報告し状態を共有し課題、ケアを検討しております。	カンファレンスで日々の記録に記載された利用者の健康状態や課題などの資料を基に、利用者一人ひとりの介護計画の進捗状況を職員全員で話し合い評価を行なっている。カンファレンスの結果をもとに現場のケアを介護計画に落とし込み、利用者 に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りやケース記録、連絡ノートにて情報共有に努めております。計画書見直しの際申し送りやケース記録を活用し計画書を立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様が対応出来ない時は入居時の引越しや通院介助の対応を致しております。ご本人様の希望や、ご家族様のご要望にて嗜好品の提供し対応することがあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れは感染症対策のため自粛しております。地域行事も感染症対策のため自粛となりました。自粛が多いため人との関わりが希薄にならないよう職員が常に寄り添い対応に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診があります。体調変化がみられた場合、オンコール体制が整っているため随時報告し往診が受けられます。外部受診の必要がある場合、適切な医療が受けられるように支援致します。	訪問診療医とは密に連携を図り、日常の健康管理と状態変化時や緊急時の迅速な対応が行われている。また、訪問歯科診療による義歯調整や口腔ケアに関するアドバイスも受られるなど医療体制が整っており、本人および家族の安心につながっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携クリニックに上申し看護師により処置や体調変化、認知症状の報告を相談し医療の観点から介護者が出来る対応、方法など指導して頂き看護師と連携強化し体調管理に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報診療提供書、介護サマリを提供しソーシャルワーカーやご家族様と情報共有し退院後も安心して帰苑が出来るように努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した対応指針を入居する段階から説明しご本人やご家族様の意向に沿ってケアが出来るように努めております。体調不良時は随時方針を話し合いを行い施設で可能な範囲の対応でお看取りを希望される場合は看取り計画書を作成し意思を共有し支援させて頂いております。	看取り支援は、本人と家族の意向を尊重し、医師の説明のもとに看取り介護計画書を作成して実施されている。職員は、家族とゆっくりした時間を過ごせるように環境整備をし、整容や更衣を一緒に行うなどチームで真摯に向き合うことを心がけて取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時は施設長に報告し急変時マニュアルにそって対応している。応急処置はいざという時に備え看護師より指導、助言をして頂きながら実践力を向上させている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、水害を想定した防災訓練を年2回行い夜間想定訓練も行っております。町会、近隣住民と連絡を取り有事の際は協力体制が取れるように努めております。	防災訓練は、自立歩行、歩行介助、車椅子利用の各人数確認しながら避難誘導を実施している。また現在、地域住民との災害時の役割分担等に関するパンフレットを共同作成中である。内服薬等が記載された個々の災害時用名札も更新が徹底されている。	BCP(事業継続計画)は、感染症発生時については完成し、職員説明も行われている。自然災害発生時は現在、着手中となっている。今後、更にブラッシュアップを繰り返しながら、実践的な計画になることが期待できる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、お声掛けの工夫をしてたくさん会話して信頼関係を築けるように対応しております。排泄時、更衣の際は特に羞恥心に配慮し対応しております。	利用者個々の人格を尊重するために、特に信頼関係を構築することを大事にしている。一人ひとりを把握して、一人ひとりの状態に応じた対応をすることこそが個人の尊重につながるとして、職員は、しっかり見る、理解する、寄り添うことに全力で取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中や会話からご本人の希望を確認しています。危険が無い限り行動制限をしないことから行動でご本人の思いを表しやすい環境を作っている。会話が困難な方は仕草や表情から意向を確認取り対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご本人の体調、心身状態を優先し起床時間をずらしたり食事の時間をずらしたり入浴日を変更したりとその日に合わせた柔軟な対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で洋服を縫って作られる方がおります。更衣介助の際何着かお見せし選んで頂いております。ご自身で選択する事が難しい場合はその人が引き立つ洋服を選んでおります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、食器拭き、食器洗い、野菜下処理など職員と一緒に食事の楽しみがますように支援しております。おやつ作りを行うこともあり共同作業を行い役割を持って頂けるよう支援しております。	誕生日ケーキを職員と共に作ったり、食べたいメニューを相談し合ったり、盛り付けや後片付けなどを分担したりと皆で食事を楽しめるための工夫を行っている。また、口腔ケアにも力を入れ、自立支援に向けたセッティングや声かけができるように努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は提供毎に記録しております。嚥下機能、食事時の状態も日々記録し形状も随時変更し主治医や、訪問歯科と連携し提供方法、栄養状態を観察しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い清潔保持、肺炎予防に努めております。口腔ケアはご本人の力に応じ介入しております。必要な方は訪問歯科と連携し口腔ケアの指導をして頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、お一人お一人に合わせた排泄パターンの把握に努めております。声掛けにてトイレ誘導を行い失禁予防、自尿を促しております。夜間オムツ対応の方でも日中トイレ介助し排泄が出来るよう支援し機能維持、自立に向けた支援に努めております	排泄の自立支援に向けて、利用者個々の排泄動作を自分で行える部分と介助が必要な部分で細かく分け、自分で行える部分を継続しながら、できる動作を増やしていくことを実践している。そのため、オムツ使用からトイレでの排泄が可能となった事例もみられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘を引き起こす要因を理解し可能な限り運動、水分補給、生活習慣の改善を行っております。主治医と連携し下剤等の処方して頂き排便コントロールに努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴拒否がある場合は曜日変更などして柔軟な対応をしております。入浴剤や季節の湯(菖蒲、ゆず湯)をご用意し楽しい時間になるよう支援しております。入浴日以外は足浴を行い血行促進しております。	湯の温度や洗身方法など一人ひとりの入浴に関する好みを把握した上で、その日の身体状況や気分などのタイミングにまで注意を払い、臨機応変に声かけを実施している。そのため、入居前に入浴拒否が続いた方でも入浴が可能となるなど効果があらわれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様のその日の状態、希望に合わせて離床、臥床対応しております。入眠や起床時間もその日に合わせ対応しご入居者様からもよく眠れたとお言葉を頂くことがあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の変更は随時申し送り情報共有し症状の変化の観察の強化をしております。個人ファイルにお薬の説明書を1人ずつ付けていつでも確認できるようにしています。服薬時の飲み込み状態も確認し服薬支援に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴を把握しご本人を最大限活かせるよう役割を持って頂き張り合いや日々の楽しみがある生活が送れるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため外出や面会も希望通りに行えない。本来はご家族様と外食をされたり行きつけ美容室に行く方、季節行事も中止となりご理解頂き自粛していただきました。苑庭を散歩したり庭の園芸を見ながら外気浴を行い	施設前の庭には、利用者が職員と共に植えた花のプランターが並んでいる。ベランダでの洗濯物干しやラジオ体操の実施、駐車場への散歩など日常的な日光浴の機会を工夫している。現在は、代行で行われている買物について、同行計画が始められている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失防止のため原則居室には置かず鍵のかかる事務所にて保管させて頂いております。管理出来る方はご家族様同意の基、最小限の金額を自己管理されている方もいます。外出時はご本人様へお渡しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	感染症来策のため面会規制中のためビデオ通話や電話でご家族様と話す機会を極力作るように配慮している。写真を送ったり手紙を書いておくる支援にも力を入れている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の飾り作りや行事の写真張り季節感を取り入れベランダのお花も季節毎に楽しめるよう入居者と手入れを行っている。天気の良い日はベランダで日光浴や庭の散歩をしている。感染症対策で共同部の消毒、換気を行い清潔な環境が保てるように対応している。	利用者の導線には物を置かず、換気や湿度温度管理も徹底されている。リビングには、季節感を大切にした利用者の作品が飾られており、台所から調理の音や香りが感じられる。居心地が良いため、昼寝も居室ではなくリビングでうたた寝されている方が多い。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で過ごす事を希望される時は居室で過ごさせて頂いております。共同フロアで過ごされる方が多くレクリエーションやゆっくりと歌謡ショーのビデオ見ながら歌を歌ったりと思思いに過ごせるよう工夫をしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には出来る限り使い慣れたものをお持ち頂いております。使い慣れたものを置くことで居心地の良い空間で安心した生活が送れるように支援しています。	利用者個々の馴染みの物や使い慣れた物を配置する際も位置や向きなども本人の意向を大切にしながら決定している。また、衣類の収納に関してたみ方や入れ方のこだわりまでも考慮して、ストレスなくその方が最も居心地の良い空間となるように努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	特に居室内は転倒、接触防止のため常にご入居者様に合わせて環境整備に努めております。混乱しないようにトイレや居室には表札を付けて場所を分かりやすく工夫し安全に自立した生活がおくれるよう対応しております。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	入居前から入居後において本人、家族に聞き取りした内容を別紙に記録しておりアセスメントに記載がなかった、または足りなかった。	アセスメントに組み込み職員が更に情報共有	アセスメントに取り込み職員が情報共有し更にアセスメントを更により良いものにしてケアに反映する。	3ヶ月
2	13	自然災害発生時BCPについて作成中である。職員説明し実践的な計画書を完成させる。	感染症発生時については実践を活かしブラッシュアップして完成させたため自然災害BCPについても職員の意見を取り入れいざという時に備える。	感染症発生時については実践を活かしブラッシュアップして完成させたため自然災害BCPについても職員の意見を取り入れ職員がわかりやすく入居者の安全が確保できるBCPを作成する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。